

大会名	平成24年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技 男子準々決勝
No. 55	2012年8月1日 15:00
場所	いしかわ総合スポーツセンター



石川県高等学校体育連盟バスケットボール専門部

チームA	正智深谷	19 1st 20	チームB	桐生第一
埼玉県	91	17 2nd 19	群馬県	89
	○	30 3rd 15		●
		25 4th 35		
		OT		

主審:Referee 渡邊 亮 本部  
第1副審:Umpire1 小谷 将夫 高知県  
第2副審:Umpire2

テーブルオフィシャル:Table officials  
金沢大学附属高等学校

No.	s	正智深谷	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REB			AS	ST	BS	TO	MIN
				M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT					
4		山田裕輝	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
5	*	石井諒	8	0	0	3	9	2	4	1	0	1	1	3	3	0	0	40
6	*	波多直樹	12	0	0	6	14	0	0	4	4	5	9	7	4	1	8	23
7		鈴木隆太	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
8	*	恋河内由真	20	2	7	7	19	0	0	2	6	9	15	3	2	1	3	40
9	*	亀山和樹	28	4	13	6	8	4	7	1	2	2	4	1	4	1	2	40
10	*	野平雄太	10	0	0	5	11	0	0	4	2	6	8	4	3	0	4	40
11		古澤正輝	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
12		小山司	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
13		金井塚優樹	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
14		波多智也	13	1	1	4	9	2	4	1	1	3	4	2	1	0	1	17
15		奥谷知弘	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
HC		成田靖 /TEAM	-	-	-	-	-	-	-	0	0	4	4	-	-	-	1	-
合計			91	7	21	31	70	8	15	13	15	30	45	20	17	3	19	200
					33%		44%		53%									

No.	s	桐生第一	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REB			AS	ST	BS	TO	MIN
				M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT					
4	*	橋本椿	26	4	17	6	16	2	2	3	0	6	6	8	3	0	8	40
5	*	平栗一真	10	0	0	5	11	0	0	3	1	5	6	4	0	0	3	38
6	*	西山誠也	3	0	3	1	4	1	3	1	1	5	6	2	0	0	0	20
7		中野史紀	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
8	*	小倉溪	38	0	0	18	31	2	2	2	5	5	10	1	3	6	4	40
9		成田将輝	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
10	*	坂下竜成	9	0	0	4	8	1	1	2	1	6	7	10	3	3	5	35
11		小堀賢人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
12		井上翔真	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
13		磯田貴大	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
14		齋藤涼一	3	1	1	0	3	0	0	3	2	1	3	1	2	0	3	15
15		落合亮太	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	2	1	0	1	0	12
HC		蛭間貞夫 /TEAM	-	-	-	-	-	-	-	0	0	1	1	-	-	-	0	-
合計			89	5	21	34	73	6	8	15	11	30	41	27	11	10	23	200
					24%		47%		75%									

SS担当: 星稜高等学校

超激戦ブロックを勝ち上がってきたチーム同士の戦い。堅いチームDefとランニングプレーで尽誠学園、福大大濠を破り勢いづく正智深谷と、全員得点能力が高く全試合を100点ゲームのハイスコアな戦いを続けてきた桐生第一の試合は最後まで目が離せない意地のぶつかり合いとなった。

第1ピリオド、桐生第一は正智深谷の堅い守りを速い仕掛けからの1対1と絶妙な合わせで破り、#4を起点に全員で得点していく。しかし、正智深谷も足を使ったチームDefで守りを固めボールを奪い、速い攻めと#9の3Pで得点していく。互いに一歩も譲らず、19-20で第1ピリオドが終了。第2ピリオド、ランニングプレーのやり合いで、ハイスピードの戦いとなり激しさが増していく。正智深谷は#8、桐生第一は#4と#8を起点に得点を重ねる。4分47秒、正智深谷にミスが続き、30-35と5点リードされたところで正智深谷が先にタイムアウト。その後、互いに得点は伸びず、36-39で桐生第一が3点リードで前半を折り返した。

第3ピリオド、正智深谷のしつこいDefに少しずつ桐生第一が得点できなくなり、ブレイクから#8、#9が連続得点した正智深谷が、7分10秒、遂に逆転する。桐生第一は、46-41となったところで、たまたまタイムアウト。その後、桐生第一は#4が自ら得点、アシストを出しチームに流れを引き寄せたいが、正智深谷も堅い守りから、#9の3Pシュート、バスケットカウントで流れを譲らない。残り1分21秒から正智深谷が4連続得点し、守りを固めランニングプレーを貫いた正智深谷が66-54と12点リードした。第4ピリオド、追いつきたい桐生第一はオールコートでDefする。桐生第一は#4の3P、#8のゴール下から得点する。6分22秒、桐生第一#4からのアシストを確実に#8が決め、75-69となったところで正智深谷がタイムアウト。直後、正智深谷がターンオーバーし、桐生第一#8がバスケットカウントで75-72となる。更に桐生第一は#4の連続得点で同点。しかし、正智深谷も#8のリバウンドシュートで逆転を許さない。3分47秒、桐生第一は2回目のタイムアウト。その後、互いに入れ合いとなるが、1分21秒、桐生第一#4の3Pで86-89と再逆転したところで、正智深谷がタイムアウト。直後に正智深谷は#14の3Pで同点とし勝負強さをみせる。残り1分を切り、正智深谷は相手のチームファウルから得たフリースローを#14、#5が1本ずつ決め91-89で正智深谷が大接戦をものにした。最後まで一歩も譲らず執念を見せた両チームを称えたい。

文責 【 東山 耕平 】

REB: リバウンド AS: アシスト ST: スティール BS: ブロックショット TO: ターンオーバー